

「木質材料・耐久性」講座 5回連続 (90分×2コマ/1回)

建築材料として木材・木質材料を使用する上で必要不可欠な基礎知識を身につけて頂くことを目的としており、前回から最新の知見を一部加えて今年度開催致します。木材と一言でいっても現代の木造建築には、集成材や合板等様々な材料が投入され、市場流通しています。さらには直交集成板 (CLT) も一般化を目指して基規準類が整備されつつあります。一方、木材は生物材料であるが故の様々な特性があり、これが長所として有効な場面が多いのですが、ひとつ使い方、設計方法を間違えると大きな欠点となってしまうこともあります。そこで、これからの木造建築をより豊かで快適なものとするための基本となる材料の特性やその耐久性について、全5回の講義を行います。

受講料：会員2万5千円、一般3万円 (※5回通し)

第1回 木材と水・乾燥、木材乾燥と材料・接合強度

木材を使用する上で最も重要な乾燥の意義や技術、乾燥割れとのつき合い方について解説します。

日時：2016年5月7日 (土) 13:15~16:30

講師：信田 聡 (東京大学)、榎本敬大 (建築研究所)

第2回 木材、集成材等構造用軸材料の強度特性と規格

製材、集成材やLVLなどの構造用軸材料やCLTの特性や強度について解説します。

日時：2016年6月4日 (土) 13:15~16:30

講師：長尾博文、宮武敦 (森林総合研究所)

第3回 合板、OSB等構造用面材料の特性と使い方

合板を始めとする各種面材料の種類と特性、構造用として使用するときの留意点等について解説します。

日時：2016年7月9日 (土) 13:15~16:30

講師：渋沢龍也 (森林総合研究所)、青木謙治 (東京大学)

第4回 木材の生物劣化と木造建築物の耐久性

木の建築を長持ちさせるために必要不可欠な腐朽・シロアリの特性やその対処法を解説します。

日時：2016年8月6日 (土) 13:15~16:30

講師：大村和香子 (森林総合研究所)、中島正夫 (関東学院大学)

第5回 地球環境と森林、木造建築物と炭素収支

木材を使うこと、木造建築を建てることの意義、意味を環境・資源的な側面から解説します。

日時：2016年9月3日 (土) 13:15~16:30

講師：中島史郎 (宇都宮大学)、有馬孝礼 (東京大学名誉教授)